



大庭申だより

2020年(令和2年)10月9日

藤沢市立大庭中学校

校長 千葉 雄一

令和2年度、前期終了！

10月9日、終業式で次のような話をいたしました。

生徒の皆さん、おはようございます。先日、生徒の皆さんに配布した文部科学大臣からのメッセージの一部を読みたいと思います。

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。

ここまでがメッセージの内容ですが、先生からもあらためて、生徒の皆さんに「想像力を働かせて」その人の立場やその人の身になって考え行動することをお願いしたいと思います。そのとき、自分自身、何をすべきなのか、何をすべきでないかしっかりと判断し責任を持って行動してください。これは、生徒の皆さんにめざしてもらいたい生徒像の2つ目「**善悪の区別を適切に判断できる生徒**」にもかかわることです。「善悪の区別を適切に判断できる生徒」とは、この場合を例にすれば「感染した人を誹謗中傷するようなことをしない」「感染した人を誹謗中傷しているようなグループに加わらない」「そういうことをしている人がいたら注意できる」そんな生徒です。

さて、今日で前期が終わります。今年の前期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が出され、臨時休校が続きました。そのため、生徒の皆さんが楽しみにしていた行事が中止になったり延期になったりして、残念な思いをした人も多くいたと思います。延期になった行事の中には、体育祭などこれから行われるものもあります。体育祭を始め、これから行われる行事は例年通りの内容で実施する訳にはいきませんが、それでもみんなで「頑張ろう！」「楽しもう！」という気持ちがあれば、充実したものになると思うので生徒の皆さんには、それをお願いしたいです。

前期、生徒の皆さんは、学校での「新しい生活様式」として、ソーシャルディスタンス、マスクの着用、手洗といったことを身につけてきました。その学校での「新しい生活様式」を守りながら、学習や部活動に頑張っている姿を見て、とても素晴らしいと思いました。前期を終えるにあたり、あらためて、緊急事態宣言の中で懸命に仕事をしていただいた医療関係者の方をはじめ、私たちの生活を支えてくださった方々への感謝の気持ちを、心の中にしっかりと置いておきましょう。

生徒の活動のようす



9/12 藤沢市ソフトテニス新人大会（個人戦）

準優勝 細川・林ペア

ベスト16 堀田・稗貫ペア

ベスト32 関・石川ペア

森田・片田ペア

藤本・坂井ペア

以上、5ペアが湘南地区大会に出場



9/19.20 秋季藤沢地区ソフトボール大会

準優勝→県大会に出場！



9/21 演劇部公演

前座…ダンス：ロケットサイダー

本編…演劇&ダンス

演劇：Alice in Wonderfulland?

ダンス：ハロー・ニューワールド

体育祭カラー決まる！

9月17日の全校集会で体育祭ブロック抽選会が行われました。この日のために、体育委員が準備を進めてきました。体育委員が司会進行を務め、久しぶりに全校生徒で楽しいひとときを過ごしました。抽選後の各ブロック3年生のリーダーの言葉からは、体育祭に懸ける意気込みが伝わってきました。

	クラス			3年生のクラス長
赤	15	21	31	岩澤奏音さん・渡邊慧音さん
青	11	22	34	亀川春希さん・坂本碧翔さん
緑	14	23	35	阿久津潮音さん・引敷林青さん
黄	12	24	33	亀川大希さん・鈴木脩翔さん
白	13		32	三宅汐奈さん・渡部蒼矢さん



新しい本部役員が決まりました！（生徒会役員選挙）

10月6日（火）に生徒会役員選挙立ち会い演説会・投票が実施されました。選挙管理委員会の生徒の皆さんのおかげで、リモートによる立ち会い演説会が実施され、その後の投票も厳正に行われました。全校生徒の皆さんも、真剣に今後の大庭中学校のことを考え選挙に参加してくれました。

新役員	生徒会長	一柳 隼人さん(23)	副会長	飯田 悠冬さん(12)
	副会長	東出 彩未さん(24)	本部役員	佐藤 碧さん(15)
	本部役員	西谷 真奈実さん(23)	本部役員	高橋 虎我さん(13)
	本部役員	平岸 寿芳恵さん(23)		

今年度の大庭中学校のスローガンは、**その「誰か」になろう！**です。生徒の皆さんには、**その「誰か」になる**ことを意識して学校や地域で生活してもらいたいと繰り返し伝えてきました。生徒の皆さんのために、**学校をよくするその「誰か」になろう**と勇気を出して立候補してくれた9名のの人に敬意を表したいと思います。これからも生徒の皆さんは、学級や学校、地域のために誰かがやらなければならないことがあるとき、自ら進んで手をあげられる**その「誰か」になれる**よう心がけてほしいと思います。

校内にある絵画 part2

本校の2つ前の校長であられた遠藤冬実先生が地域の方や藤沢に縁のある画家にお願いして寄贈していただいた絵画の中から、今回は、南棟東階段踊り場等に展示されている熊沢淑さんの作品について紹介したいと思います。

熊沢淑さんは1931年（昭和6年）に大磯町で6人兄弟の次女としてお生まれになりました。本名は淑子。1950年（昭和25年）二宮小学校の教員として勤務されてから、1992年（平成2年）片瀬小学校校長で退職されるまで、小学校の先生として児童の教育に携わってこられました。退職時には退職の記念にと、片瀬小学校の全校児童の似顔絵を描いてプレゼントしたそうです。

教師になって間もない頃、図工の指導に悩んでいた熊沢さんは、どうしたらよいか生涯の師となった小関利雄先生（横浜国立大学教授）に質問したそうです。小関先生からは「自分で描いてみなければ解りません。」という言葉が返ってきたそうです。「この思いがけない言葉をまともに受けた私。そのことが、今日まで制作を続ける切っ掛けとなりました。」小関先生の「教育の道と芸術の道は両立できるはずだ。」との言葉で熊沢さんは「二足の草鞋を履くことになりました。」と画集のあとがきに書かれていました。先月紹介した後藤さんは画家と技術者の二刀流の方でしたが、熊沢さんは画家と教師の二刀流の方でした。



’94風-SOGA I



’94風-SOGA II



作品K